

資料 1

第 1 回美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会まとめ

平成26年11月5日

目 次

1. これまでの意見	1
2. 現状と課題	2
3. 委員会（第1回）で得た意見	6
4. 参考	9

1. これまでの意見

「境港市民会館のあり方について」意見募集した結果について（平成 26 年 3 月／境港市）

■規模に対する意見

- これまでの市民会館の規模のものがやはり必要。
- 千人規模集客のホールは必要。

■複合施設に対する意見

- 複合施設として新設。
- いろいろな施設を複合して造り直す。
- 建て替えてコンベンションホールのような可動式のイスにして、展示会等のイベントができるようにする。
- 大小ホールを有し、客席から舞台・楽屋への建物内での移動可能で、文化芸能団体（特に大音量の出る）等練習できる部屋を併設した施設。
- “手狭感のある” 境港市民図書館もあわせて建て替えるカリニューアル。
- 単一のホールではなく、図書館などとの複合施設にする。
- ホールと図書館との複合施設。
- 中規模（500～600 人）のイベントホールと避難場所（災害時）としても利用可能な施設。
- 防災の拠点として避難場所、設備の充実。

■施設・設備に対する意見

- 内部の装備品（放送機器・椅子）等の取替。
- 少し幅の広い座席への取り替え。
- 正面の階段の改修。（階段の一段一段の幅を広くするか、手すりの設置・滑らない工夫。）
- トイレは、だれもが使いやすい、安全なもの。
- トイレの様式化。
- 駐車場スペースの確保

市民の意見を聴く会（平成 26 年 2 月 27 日）

■規模に対する意見

- 座席数が減っても広くしたほうが良い。
- 800 席ぐらいが妥当。
- 座席数は 800 席を切ってもらいたくない。
- 800 席以上を確保。
- 夢みなとタワーが 200 席、シンフォニーガーデンが 400 席となると、環日本海拠点都市として様々な大会があるので、それ以上の座席数が必要。
- 座席数が少なくなるのは微妙。
- 同規模の施設が必要。
- 1,000 人前後のキャパが必要であり、800 人というのは微妙な数である。
- 1,000 席確保するためには、客席を 2 階層にすれば増やせる。

■複合施設に対する意見

- 複合型施設。
- 会議棟とホール棟を一体とする。
- 図書館の評判が非常に悪い。一体で建替えたほうが得。
- 図書館、美術館、防災機能を有した施設。
- 国際交流には研修室や会議室が必要。

■施設・設備に対する意見

- 控室等も改修。
 - 室内にリハーサル室をつくる。
 - 椅子や段差は直してほしい。

2. 現状と課題

今回検討の対象とするのは、「市民会館周辺エリア」と「竜ヶ山周辺エリア」の2つの区域である。

(1) 市民会館周辺エリア

市民会館を中心とする本エリアは、境港市の人口集積地となっている（上道町：3,376人、中野町：2,341人／平成26年3月31日現在）。市民会館には市役所、図書館が隣接し、近隣には文化ホール等も立地しており文化・芸術の拠点となっている。これらは災害時には防災拠点としての機能を発揮することも期待されている。

市民会館では、航空自衛隊音楽隊の演奏会が毎年開催され、航空祭と並んで市民と自衛隊との交流機会となっている。

①市民会館

市民会館は昭和48年に建設され、大ホールは収容定員1,300人、その他大小会議室や和室、展示室などを備えた施設として整備された。これまで多くの市民や自衛隊の演奏会などで利用され、文化・芸術の拠点施設として親しまれてきた。

しかしながら、開館40年を超えた会館は老朽化の進行、古く使いにくくなった座席シート、トイレなど利用面での課題が浮き彫りになっている。また、公演における使い勝手の悪さから施設稼働率も低調である。さらに、平成25年には耐震診断調査において「倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」との結果となり、現在大ホールは使用を停止している。

利用者もほぼ固定されており、大きな変動はない。

- ①座席やトイレなど設備の老朽化による使い勝手の悪化
- ②公演における使い勝手の悪さによる施設稼働率の低調
- ③耐震診断による倒壊危険性

②市役所

市役所は防災計画上、災害時には災害対策本部としての機能が付与されている。しかしながら、建物自体は昭和36年に竣工し、築後50年以上が経過しており老朽化が進んでいる。平成20年に行なった耐震診断では防災拠点施設としての基準値を下回る結果が出るなど、頑強な拠点施設としての機能が強く求められている。

- ①施設老朽化
- ②防災拠点施設にふさわしい堅牢性

③図書館

境港市民図書館は、市民会館に隣接しており蔵書数は約 15 万冊、年間利用者数は約 7 万人である。本市では子育てに力を入れており、図書館では 6 ヶ月検診、1 歳 6 ヶ月検診時には絵本をプレゼントするなど子育て世帯へのサービスに注力している。施設は昭和 52 年（旧館）、昭和 62 年（新館）に建設されているが、手狭で市民からは利用しにくいといった声も聞かれる。

①使いにくい施設

②施設の老朽化

（２）竜ヶ山周辺エリア

竜ヶ山周辺エリアは、夕日ヶ丘地区と自衛隊官舎を合わせて 2,349 人が居住している（平成 26 年 3 月 31 日現在）。本エリアは土地区画整理事業による宅地分譲を行なっている夕日ヶ丘団地があり、今後も人口の増加が予測される地域である。

夕日ヶ丘団地は「健康シティ」として位置づけられており、健康づくりの拠点エリアとなることが期待されており、近隣には野球場や陸上競技場等が整備されている。

しかしながら野球場のスコアボード部分は老朽化に伴う倒壊リスクが高まっており、現在は立入禁止となっている。また陸上競技場は昭和 60 年に供用開始され、当時は第 3 種公認の陸上競技場であったが、現在は第 4 種公認となっており、各種競技大会等の開催に支障が出ている（下表参照）。

■陸上競技場種別

項目	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
使用できる大会	日本選手権、国民体育大会、国際的な競技会	加盟団体の選手権、地方における国際的競技会	加盟団体等の対抗競技会	対抗競技会、記録会	学校内競技会、クラブ対抗競技会
走路一周の距離	400m		300m,400m	200m,250m,300m,400m	200m,250m,300m,350m,400m
直走路	8又は9レーン		8レーン	6レーン以上	4レーン以上
曲走路	8又は9レーン		6レーン以上	4レーン以上	
3000m障害用施設	必要		なくともよい		
公認長距離競走路	近くにあることが望ましい		なくともよい		
走幅跳、三段跳の跳躍場	6か所以上				
棒高跳の跳躍場	6か所以上	4か所以上			
砲丸投のサークル	2か所以上	1か所以上	1か所以上	各1か所以上、一部を欠いてもよい	
円盤投、ハンマー投げのサークル	兼用可で2か所以上				
補助競技場	全天候舗装、走路一周400mで第3種相当	全天候舗装が望ましい	なくともよい		
収容人員	15,000人以上(芝生席を含む)	5,000人以上	相当数		

また同エリアはスポーツ等の拠点施設として野球場、陸上競技場の他に市民スポーツ広場、艇庫などが整備されている。一方で整備済みの施設はいずれも屋外型施設であって、屋内施設はないのが現状である。

竜ヶ山周辺エリアは健康づくりの拠点エリアとしての位置づけから、各種スポーツ関連施設が整備されているが、いずれも屋外型施設であり屋内型施設はない。同エリアは健康づくりとともに、美保基地に近く航空機災害の可能性が他地域よりも高い。また島根原子力発電所から 30 キロ圏内（UPZ）に位置しているため、防災・避難施設等の機能を備えた施設整備が求められる。

- ①既存施設の老朽化
- ②地域の位置づけ（スポーツ・健康づくり拠点）
- ③屋内型施設の欠如

（３）美保基地と市民との交流

自衛隊美保基地と市民との交流は盛んに行われている。中でも、今回の検討エリア周辺で開催されるものを列举すると次のような交流が展開されている。

①市民会館周辺エリア

- ふれあいコンサート in 境港（西部航空音楽隊による音楽演奏会）

時期：6 月頃（H26 年度）

内容：全国に 5 つある航空音楽隊のうち「西部航空音楽隊」（本拠：福岡県）による演奏活動。

備考：例年、市民会館での開催だったが H26 年度は文化ホール「シンフォニーガーデン」で開催。

②竜ヶ山周辺エリア

- 航空祭

時期：5 月中旬～6 月初旬の日曜日

内容：美保基地に配備されている機体の展示飛行、ブルーインパルスによる曲芸飛行等。

規模：県内外から約 60,000 人の来場（H26 年度）

- 美保基地納涼祭

時期：7 月下旬

基地グラウンドに特設やぐらを設営し、周辺住民数百人が参加。

備考：各地域の伝統ある踊りが次々と熱演。

●体験搭乗

時期：9 月（H26 年度）

内容：C-1 型輸送機および YS-11 型輸送機での体験搭乗を一般開放。体験後は基地でしか販売していないおみやげ等の販売も実施。

●美保基地少年野球大会

時期：7 月（H26 年度）

備考：竜ヶ山野球場にて野球大会を開催し、基地周辺から 10 チーム程度が参加。

●鬼太郎カップ境港駅伝競走大会

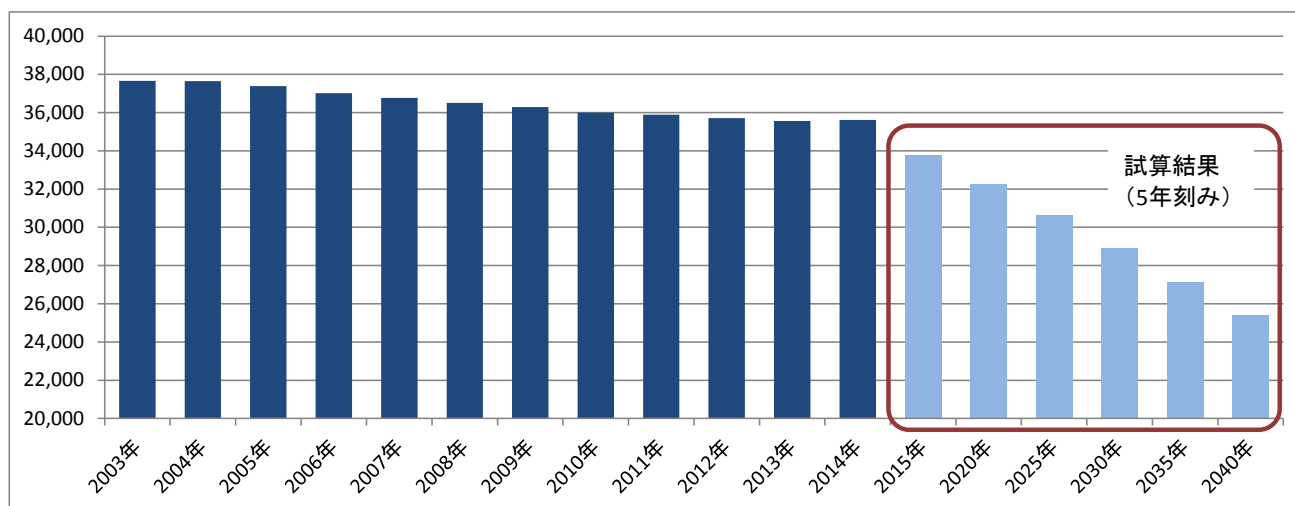
時期：10 月（H26 年度）

内容：竜ヶ山陸上競技場を発着点として駅伝競走大会が開催され、基地陸上部は「自衛隊の部」に出場。

（４）市全体の人口推移

境港市全体の人口推移について確認しておく、2003 年（平成 15 年 3 月 31 日）の 37,665 人から 2014 年（平成 26 年 3 月 31 日）の 35,622 人まで 10 年間で 6.3%の人口減少となっている。

下のグラフは、平成 15 年（2003 年）から平成 26 年（2014 年）までは実数、2015 年から 5 年刻みの部分は国立社会保障・人口問題研究所による試算結果（平成 22 年国勢調査結果にもとづく試算）を並べている。試算であることと、グラフが 5 年刻みであることに注意が必要であるが、大きなトレンドとして人口減少は進行することが予測される。



2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
37,665	37,650	37,392	37,014	36,771	36,514	36,292	36,006	35,895	35,708	35,562	35,622	33,786	32,274	30,617	28,891	27,145	25,418

出典：境港市市民課（2003～2014） 国立社会保障・人口問題研究所（2015～2040 試算）

3. 委員会（第1回）で得た意見

（1）エリアの設定について

- ・子どもたちが未来に向かって豊かに育っていってくれる拠点としての市民会館の周辺、竜ヶ山の周辺という視点も大事にしていけたら良いと思っている。
- ・3つも4つもいろいろと案があるかもしれないが、エリア①、②で良いのではないかなと思う。
- ・たくさん広げても中途半端ということもあると思う。
- ・エリア①の方が文化的な面、エリア②の方が運動・スポーツの面ということで、ある意味バランスがとれていて、それぞれにまとまっていて、これで良いと思う。

（2）各種施設等について

①市民会館周辺エリア

- ・市民会館とあわせて、図書館も一緒にエリアのなかで考えていただければ良いと思う。

②竜ヶ山周辺エリア

- ・野球場は施設建設後に定住化した家族が多く、野球場の利用に対する住民意識とのギャップが出ている。
- ・エリア②は、航空自衛隊の基地、あるいはそれにともなう事故等の対策として、夕日ヶ丘の広い施設を充分に利用できるのではないかな。
- ・竜ヶ山をやっていくためには、周りに家が建つことによって、スポーツ広場としての意味が狭くなってくるということはあるのではないかなということも含めて考えていただきたいと思っている。

（3）現状認識・課題認識について

①市民会館周辺エリア

＜多くの市民が集う拠点・機能の複合化＞

- ・市民が、みんなが集えるような場というものが、これからは必要でないかなと思う。
- ・複合施設が良いと思う。みんなが集まれる広場のような施設が欲しいと思う。
- ・市民会館と防災の拠点と図書館など、一体的な施設を考えた方が良いのではないかなと思う。
- ・市役所も図書館も、市民会館も同一の大きな建物にするのが一番良いのではないかなというようなぐらいの構想になってきていると思う
- ・いろいろな施設を複合する。例えば、市民会館とくっつけて、防災のところ、自衛隊の広報コーナー、図書館、200人くらいは入れるような小ホールでも構わないし、その辺のいろいろな使いようはあると思う。
- ・防災の拠点、文化の関係、図書館などがある場合に、保健相談センターとの連携をみながら、福祉の方の場所なども、若干、入れてみていただければ良いと思っている。

- ・青年会議所の活動で、ゲタ飛ばし大会は約 1,200 人から 1,800 人が来訪するが、駐車場の確保に苦労している。

＜多様な利用＞

- ・複合施設として、絵画を展示する場所も、写真も展示する場所もあれば良いと思う。講演会場もできれば隣接していただきたいと思う。

＜駐車場の整備＞

- ・駐車場の問題であるが、どれにも駐車場が少なく、狭い。これが、人が集まる場所なのかということである。
- ・駐車場の不足というのが、一番、ホールの場合は欠点になっていく。ある程度、客を増やすためには、こういうことも考えてもらって、全体として具体的にみていった方が、防災の関係も、図書館の関係も、全部含めて考えた施設にした方が良いと思う。

＜民間との連携＞

- ・民間とタッグを組んで、喫茶店を出してもらうとか、本を読んだり勉強しに来る方は、少し休憩したり、食事したり、そういったところを賃貸借契約ということで官民一体の建物、まちづくりの基本構想ができないか。

②竜ヶ山周辺エリア

- ・ある程度、余分に広げて、駐車場等もとっていただいたら、少し広めにしていただけたら良いと思う。

市民会館周辺エリアに関する議論

- ①施設の複合化（文化芸術・行政・防災・保健福祉機能の集約）
- ②駐車場整備による“寄りやすい”施設
- ③民間との連携

竜ヶ山周辺エリアに関する議論

- ①駐車場の拡充
- ※現状で、議論は市民会館周辺エリアに比重が大きいです。

1 美保基地と市民との交流事例

1) 航空祭 ●5月中旬～6月初旬の日曜日に開催されている。美保基地に配備されているC-1型輸送機、YS-11型輸送機、T-400型練習機の大編隊等の展示飛行と、ブルーインパルスの特技飛行を実施している。平成26年度は6月8日（日）に開催され、県内外から約60,000人の観客が来場し、各種イベントを楽しんだ。 ●検討エリア②竜ヶ山公園周辺エリアは、多くの来場者の臨時駐車場として利用されている。	
2) 西部航空音楽隊による音楽演奏会（ふれあいコンサート in 境港） ●航空自衛隊には全国に5つの音楽隊があり、航空自衛隊が実施する式典やイベントへの参加、国家的行事や国際的なイベントへの支援、地方自治体や公共団体等が主催する各種行事への協力等、それぞれの地域を代表する音楽隊として多様な演奏活動を続けている。 ●西部航空音楽隊は、西部航空方面隊司令官の直轄部隊として編成され、航空自衛隊春日基地（福岡県春日市）に本拠をおき、九州、中国、四国地方を主な範囲として演奏活動を行っている。航空機動力を発揮した文字どおりの「空駆ける音楽隊」である。 ●例年、市民会館で開催されているが、平成26年度は、6月14日（土）に、境港文化ホール「シンフォニーガーデン」において開催された。	
3) 境港みなと祭り参加 ●美保基地から踊りパレード（みこし）や音楽演奏会（太鼓、軽音楽）、鬼太郎音頭などに参加し、市民とともに祭りを楽しんでいる。平成26年度は、7月27日（日）に開催された。	
4) 美保基地納涼祭 ●7月下旬に、基地グラウンドに特設やぐらを組んで盛大に開催され、隊員や家族のほか、基地周辺住民の方々数百人が参加する。各地域の伝統ある踊りが次々と熱演される。納涼祭の締め括りとして、花火が打ち上げられる。	

出典：航空自衛隊 美保基地 ホームページ

5) ちびっ子ヤングサッカー大会

- 2年に1度開催される「ちびっ子ヤングサッカー大会」が8月下旬に開催される。
- 平成26年度は8月30日、31日の2日間、基地グラウンドで開催された。大会には鳥取県西部地区からチームが出場した。



6) 体験搭乗

- C-1型輸送機とYS-11型輸送機での体験搭乗を一般に楽しんでもらうものである。
- 平成26年度は、9月21日に実施され、当日は体験搭乗終了後、新管制塔及び基地資料館の見学、美保基地にしか販売していないお土産、自衛隊グッズを準備した売店の営業が行われている。



7) 白砂青松アダプトプログラム参加

- 白砂青松アダプトプログラムに参加し、弓ヶ浜半島の清掃ボランティアを実施している。
- 平成26年は2月22日（土）に実施し、当日は空き缶や枯れ枝等のゴミを拾い集めている。



8) 美保基地少年野球大会開催

- 美保基地野球部が、市営竜ヶ山球場において、野球大会を開催している。
- 平成26年度は、7月26日、27日の2日間開催され、大会には、基地周辺から10チームが参加している。



9) 鬼太郎カップ境港駅伝競走大会

- 「鬼太郎カップ境港駅伝競走大会」が、竜ヶ山陸上競技場を発着起点とし、同市内の市街地や竹内団地などを巡る通称「サカイマリンマラソンコース」の42.195kmにて行われている。
- 平成26年度は、10月19日に開催された。

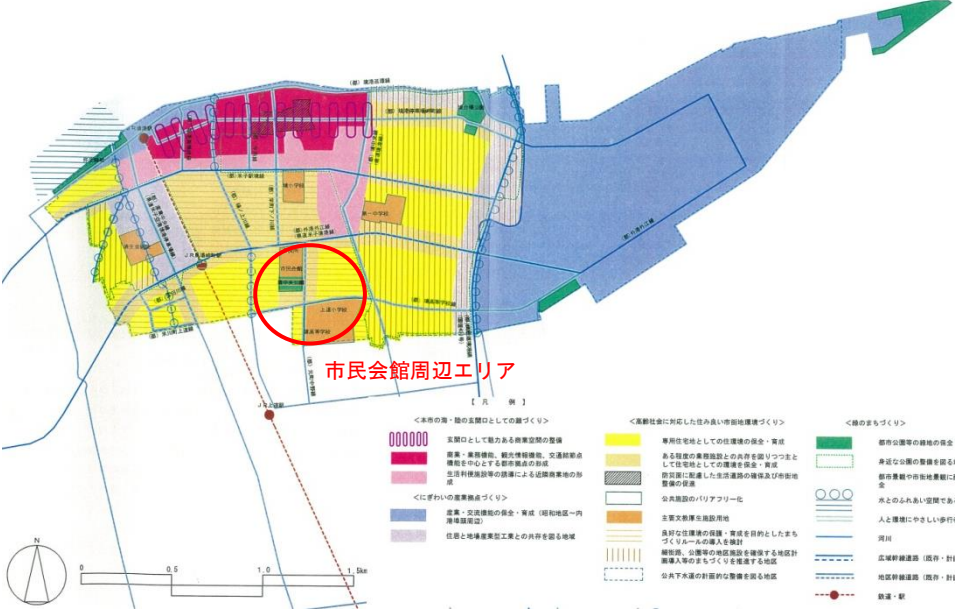


2.上位・関連計画での位置づけ

(1)境港市まちづくり総合プラン 平成 22 年度－平成 26 年度

名 称	境港市まちづくり総合プラン 平成 22 年度－平成 26 年度
概 要	(まちづくりの基本理念) ●魅力と活気あふれるまちづくり ●心豊かに、安心して暮らせるまちづくり (将来都市像) ●環日本海オアシス都市 港湾や空港などの社会基盤や資源を活かしたまちづくりに加え、市民の暮らしに根ざした基本的な施策を推進することにより、誰もが、快適で、心豊かに、そして「安全で、安心して暮らせるまち」、すなわち、文化的で質の高い暮らしができる独自の魅力を持ち合わせることで、人やものが寄り集まり、砂漠の中の「オアシス」のような活気あふれるまちをめざし、そのイメージとして「環日本海オアシス都市」を標榜します。
検討エリアの位置づけ	(生涯学習の推進) ●地域住民の生涯学習に対する意欲は高く、多様で高度化しています。 ●生涯学習を進め心豊かな人と文化を育成します。 (防災体制の整備) ●防災体制の整備等を進め、安心して住みよい生活基盤の充実をめざします。 ●公共施設の耐震化と防災情報基盤の整備を行います。

(2)境港市都市計画マスタープラン（平成 15 年 3 月／境港市）

名 称	境港市都市計画マスタープラン（平成 15 年 3 月／境港市）
検討エリア① 市民会館周辺エ リアの位置づけ	(中心市街地（境・上道）の位置づけ) ●交流による人にやさしいまちづくり (本市の海・陸の玄関口としての顔づくり) ●行政サービス・福祉機能、観光情報機能、商業・業務機能などの強化・充実を図るとともに、玄関口としての顔となるよう景観育成やバリアフリー化に努めます。 
	(周辺市街地（誠道・中浜）の位置づけ) ●環境にやさしい（緑住共生） まちづくり (ゆとりある市街地環境づくり) ●健康シティタリヶ丘については、良好な住環境を育成するため、建物の形態や敷地規模の規制、緑の育成を図るなどの地区計画を導入しており、住宅団地のモデル地区として位置づけるとともに、まちづくりのテーマである「境港・健康都市」の実現を目指します。 